

特集

幌延町交通事故死ゼロ3000日達成



田中氏（左）から知事感謝状などを受け取った野々村町長

交通事故死ゼロ3000日達成
北海道知事から感謝状

幌延町での交通事故死ゼロが10月4日で過去最長の3000日に達し、北海道や関係団体から町に感謝状などが贈られました。

今回の交通事故死ゼロ3000日の記録は4日時点で、宗谷管内では、利尻町、礼文町に続く3番目の長さになっています。

10月10日には、宗谷総合振興局くらし・子育て担当部長の田中久徳氏が来庁。3000日の達成を記念し、北海道知事からの感謝状、北海道交通安全推進委員会からの表彰状とたてを野々村仁町長に手渡しました。

田中氏は、「交通事故死ゼロを長く続けるのは本当に難しいこと。幌延町にはぜひ4000日、5000日と頑張って継続してほしい」と激励。野々村町長は「これからも住民全体で安全な町をつくっていく姿勢を大切にしたい」と応えました。

野々村町長インタビュー



3000日達成町の誇り

交通事故死ゼロ3000日の達成は喜ばしいニュースです。これも、交通安全指導員をはじめ、PTAや地元企業、住民の皆さんが街頭に立ち、交通安全の啓発を頑張ってくれた一つの成果であり、町の誇りだと思います。

では、今後も交通事故で尊い命を失わない日々を続けていくためには何が必要でしょうか。交通安全啓発のイベントを増やしたり、「次は〇千日だ」と目標を掲げることではないかと私は思っています。

町内にはスーパーの駐車場付近、見逃しやすい車の一時停止箇所、信

号機のない横断歩道など危険が潜む場所が多くあります。大型車両の往来も頻繁で、いつ重大事故が起きるか分かりません。皆さんも少なからずヒヤリとする場面に遭ったことがあることでしょうか。大切なのは、交通安全を意識する人の輪を広げることだと考えています。

ゆとり・思いやりのある運転を

「店の近くで路肩駐車をしたら歩行者の死角を作ってしまうかも」「交通量は少ないけど一時停止は必ず止まる」「横断歩道がなくても高齢者や子供がいれば道を譲ろう」。こういったたゆとりと思いやりをもった町民が増えれば、交通事故が起きる可能性はぐっと下がる。町全体がそういう意識をもてば、町外から来た運転手も速度を緩めるはずだ。

今回の交通事故死ゼロ3000日達成を契機に、町民ひとりひとりが目配り、気配り、心配りをしながら安全に暮らす協働の町づくりを目指しましょう。幌延町ならきつとできると信じています。